

## 郷土の偉人

### 菅井梅閑（すがい ばいかん）

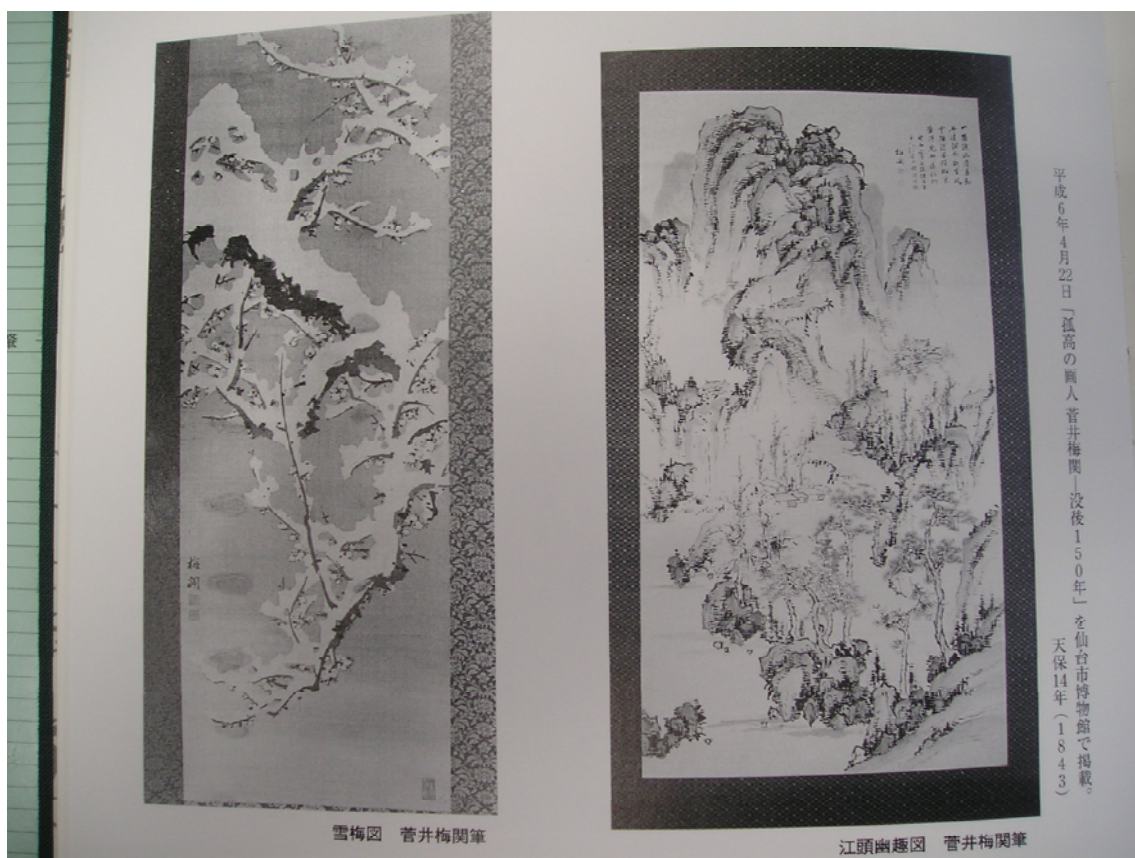


四郎丸字渡道の農家，菅井家に生まれる。  
（天明4年～天保15年没62歳）

幼少から画を好み，成人して志をたて，長崎で文晁や清人江稼圃に学んだ。特筆すべきは，画譜（絵手本）だけに頼らず本格的な画技の習得に努めたことである。

帰郷後は，仙台藩に仕え，山水画に長じ，特に「墨梅」は天下随一とされ，全国的にも高い評価を得ている。

菅井梅閑 肖像画（四郎丸小学校と中田小学校に所蔵されている）



菅井梅閑の作品（仙台市博物館所蔵） 「雪梅図」（左） 江頭幽趣図」（右）